

特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）

2004 年度総会 議案書

日 時：2003 年 9 月 24 日（金）19:00 ～21:00

会 場：横浜ワールドポーターズ 6 階会議室

議 事

第 1 号議案 2003 年度（2003 年 8 月 1 日～2004 年 7 月 31 日）事業報告書承認について

第 2 号議案 2003 年度（2003 年 8 月 1 日～2004 年 7 月 31 日）収支計算書承認について

第 3 号議案 2004 年度（2004 年 8 月 1 日～2005 年 7 月 31 日）事業計画について

第 4 号議案 2004 年度（2004 年 8 月 1 日～2005 年 7 月 31 日）収支予算について

第 5 号議案 役員 の 退 任 ・ 選 任 に つ い て

2003年度【2003年8月1日～2004年7月31日】
特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）
事業報告書

2003年度の重点的な取り組み

【事業の重点項目】

1．NPOの活動基盤強化を意識した事業運営の実施

(1) NPOの政策提案のキャパシティビルディングの方策と自治体の持つシステムの検討

2003年4月から、「NPOの政策提案力の開発とNPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案」をテーマに、トヨタ財団の市民社会プロジェクト助成を3年計画で受け、今年度はその1年目にあたる事業を実施しました。

具体的には事例の検証等を通して、NPOの政策提案に必要な力（要素）を分析することに力を注ぎました。「NPOの政策提案」というテーマに対しては、全国のNPO関係者を始め、自治体職員や研究者などからも高い関心が寄せられました。

2003年度の取り組みは、まだNPOの政策提案について、NPOが持つべき力や課題を整理した段階であり、社会的にNPOの政策提案の重要性を発信した以外は、事業の社会的成果はまだあらわれていません。しかし、県内外のNPO関係者等から注目を得られたことで、ますます重要となりつつあるテーマであることを確信しました。今後、より具体的にNPOの政策提案能力の向上と自治体のシステム変革を図ることのできる事業展開が必要だと考えます。

(2) NPO・市民活動情報を集約・随時更新できるしくみづくり

アリスセンターには相談や電話・FAX・郵送・メールなどで市民活動団体情報が送られてきます。その中から紹介したい情報を取捨選択して月2回「らびっとにゆうず」やアリスwebサイトを通して情報発信しました。

また、インターネットを利用した情報収集発信のために2003年4月に「かなびプロジェクト」をたちあげ、アリスセンターwebサイトのリニューアルを検討してきました。ここでは以前より課題であったイベント情報のデータベース化、ならびに随時アリスwebサイトに反映される仕組みを検討しました。リニューアル版については2004年度に多くの方に見ていただいて意見を交わしながら変更していく予定です。

かなびプロジェクトを立ち上げたことでインターネットに関する専門家と連携することができ、新しい手法について知る機会ができました。しかし市民活動情報は新しい手法を用意しても集まってくるわけではないので、アリスセンター側からの情報入手の努力が必要だと感じました。

そこで市民リポーターの発掘を同時に考え、地域で活動する市民からのレポートや、他団体の活動についてレポートを寄せていただくための学習会を開始しました。ここではかなびwebサイトを実験的にupし寄稿したいと思う魅力あるwebサイトにしていく必要があります。

(3) NPOの財政基盤強化のための市民ファンドづくりにとりくみます。

NPOの財政基盤強化のための市民ファンドとして、2001年に取り組み始めた「神奈川県子ども未来ファンド」は、ファンドの法人格取得に伴い、アリスセンターが事務局を受託するという形態をとりながらファンドを軌道にのせるために取り組みを行っています。

2003年度は、わかりやすく公正なしくみとするための組織見直しに基づいて、ファンド理事公正の多様化、助成プログラムの設計と実施、成果発信を行いました。寄付収入は、単発寄付が多く、安定して寄付が得られるしくみを増やしていくことが大きな課題です。

2. 情報収集・発信機能の拡充

アリスセンターに寄せられる情報（イベント、助成金、新刊、報告書、募集、webサイト更新など）とトピックスなどを編集して月2回「らびっとにゆうず No.55～No.75」を発行しました。また「らびっとにゆうず」をメールマガジンに編集しなおして、希望者には無料で配信しました。

さらに「らびっとにゆうず」発行にあわせて、アリスwebサイトの更新を行いました。

年に4回特集を組んで季刊誌「たあとる通信」を発行する予定でしたが、15号の発行が遅れました。

3. 市民団体間、支援センター間のネットワーク、連携の推進

連携・協働のコーディネイターのあり方を考える「協働コーディネイター養成講座」（地球環境基金より講座受託）を神奈川県内のNPOネットワーク「かながわNPO研究会」の企画協力により実施しました。

2002年度発行の「ウサギもカメもよくわかるNPO実務テキストシリーズ」（以降「ウサカメ」）やNPO実務講座がきっかけとなり、県内各地で自治体・支援センター主催のNPO実務講座が実施されるようになり、「ウサカメ」テキストを使用しての講義が行われましたが、当初想定した講座共催など企画段階での組織連携は充分に持つことができませんでした。

4. わかりやすい支援メニューの確立

専門家向けNPO基礎講座、NPO実務講座の実施、「ウサカメ」テキスト発行、と前年取り組み始めたNPO実務支援は、今年度は「年度末のNPO実務講座」「NPO実務相談」に展開しました。

5. 中期目標の見直し

2000年に設定した中期目標を、アリスセンターが持つべき企業連携のあり方、支援メニューの開発などを検討し、2004年度以降の中期計画を策定する予定でしたが着手することができませんでした。

【センター運営の重点項目】

1. 会員への情報提供強化

らびっとにゅうずについてメールでの情報配信ができない正会員には FAX・郵送で対応しました。正会員サポートの一環として、正会員間における連携・交流の促進・活性化を目指しましたが、有効な効果をあげることはできませんでした。

2. 安定した財源バランスの実現

2003 年度の財源バランスは、自主財源（サポート財源：会費・書籍売り上げ・講座収入）13%、受託収入 55% でした。自主財源の拡充はまだまだ必要ではありますが、今年度はキャンペーンなどの積極展開は実施できませんでした。

*会員数の経年変化

	2000 年度末 (2001 年 7 月末)	2001 年度末 (2002 年 7 月末)	2002 年度末 (2003 年 7 月末)	2003 年度末 (2004 年 7 月末)
正会員	120 (156 口)	114 (148 口)	126 (154 口)	119
準会員	152	159	182	190
賛助会員	1 (1 口)	1 (1 口)	0	0
合計	273	274	308	309

3. 労働環境整備

◆実施の概要

2003 年 9 月からの新たなスタッフ採用にあたって、募集時の公募、選考手続き、研修・試用期間の設定など、採用手続きの整備を行いました。また、理事会で就業規則を作成し、2004 年 6 月から適用しました。

◆成果と自己評価

アリスセンターとしては、初めてのスタッフ公募であり、アリスセンターのホームページやメールマガジン、全国の NPO 支援センターなどへの広報依頼を通して応募者を募集した。多彩な人材を発掘するためには、公募という方法が有益であることを実感するとともに、雇用契約や就業規則などを整備し、双方が納得できる対等な契約のもとでの雇用を行うことが、公募による人材確保には不可欠であると認識した。

就業規則は、既存の一般的な就業規則をもとにして作成したものであり、今後 NPO という組織の特性やより働きやすい労働環境を視野に入れて適宜見直しを行う必要があります。

資料（巻末）：就業規則、介護休業規程

2003 年度事業一覧

事業項目	事業・プロジェクト	頁
1. まちづくりに関する 政策提言	(1) NPOの政策提案力の開発とNPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案 (NPOアドボカシープロジェクト) (トヨタ助成事業)	5
	(2) NPOスクエアを拠点としたNPO協働事業	5
	(3) かながわボランティア活動推進基金 21 NPO検討会への参加	5
2. まちづくりに関する 相談・コンサルティング	(4) 市民活動運営相談・実務相談・ヒアリング対応	6
	(5) 川崎市地球環境保全行動計画推進会議の運営等に関する業務 (受託事業)	6
	(6) (財) 港北ニュータウンまちづくりNPO設立検討業務 (受託事業)	6
3. まちづくりに関する 情報収集と提供	(7) NPO団体情報ポータルサイトの開設 (「かなび」プロジェクト) (助成事業)	7
	(8) ホームページの運営	7
	(9) らびっとにゅうずの発行	7
4. まちづくりに関する 調査研究	(10) 勤労者マルチライフ支援事業 (受託事業)	9
	(11) 都筑区市民活動支援検討調査 (受託事業)	10
	(12) 川崎市コミュニティビジネス調査 (受託事業)	10
5. まちづくりに関する 講座・研修等の企画・ 運営	(13) たあとるセミナーの開催	10
	(14) NPO実務講座の開催	10
	(15) 専門家向けNPO基礎講座の開催	10
	(16) 協働コーディネイター養成講座 (仮) の開催 (受託事業)	11
	(17) 「ボランティアグループマネジメント講座」の企画運営 (受託事業)	11
	(18) 生活クラブ生協まちづくりアクション研修等 (受託事業)	12
6. まちづくりに関する 資料等の発行	(19) 「たあとる通信」の発行	12
	(20) 「ウサギもカメもよくわかるNPO実務テキスト」発行	13
7. まちづくりに関する 講師等の派遣	(21) 講師等の派遣	13
8. 市民団体等に対する 支援・助成	(22) NPO法人神奈川子ども未来ファンド事務局	14
	(23) かながわNPO研究会事務局	14
	(24) 大岡川まちかわ衆事務局	14
総会・理事会開催記録		14

各事業の内容

1. まちづくりに関する政策提言

(1) NPOの政策提案力の開発とNPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案(NPOアドボカシープロジェクト)

※トヨタ財団からの助成事業

市民活動センター神戸、せんだい・みやぎNPOセンターと合同でプロジェクトを実施しました。プロジェクト1年目に当たる2003年度は仙台・神戸において2回、プロジェクト共同者による合同会議および公開セミナーを実施し、先進事例からの知見を得るとともに、NPOの政策提案力についての多面的分析を行いました。

アリスセンターでは、特に神奈川県内で個々の地域課題に関する政策提案に取り組むNPOへのヒアリングを通して、NPOの政策提案に必要な力(構成要素)を分析いたしました。また、プロジェクトの成果をたあとる通信11号「特集 NPOと政治」、たあとる通信14号「特集 NPOと政策提案」として報告するとともに、たあとるセミナーでの意見交換の場を設けました。

次年度では、1年目の成果を普及してゆくための、効果的な研修プログラムの検討や自治体の政策形成システムへの具体的な提案に向けて、研究会等を通じた検討を行っていきます。

【参考】たあとる通信11号「特集 NPOと政治」

たあとる通信14号「特集 NPOと政策提案」

(2) NPOスクエアを拠点としたNPO協働事業

2002年2月に5団体で開設したNPOスクエアには、2002年末には19団体(アリスセンターが転貸しているスモールデスクに6団体を含む)まで増えました。2004年7月末現在15団体となっていて、退去する団体にあわせて入居を検討していた団体が入れ替わるという状態で常に空スペースがない状態です。

NPOスクエアの入居団体で毎月1度のNPOスクエア連絡会を開催し、連携を図りました。横浜ワールドポーターズで毎年行われるバリアフリーフェア(9月30日)にNPOスクエアとして参画し、協働運営をしました。

【参考】NPOスクエアwebサイト <http://www.nposq.jp>

(3) かながわボランティア活動推進基金21

基金21NPO検討会・基金21協働会議への参加

「基金21NPO検討会」、および県、基金21審査会・幹事会、基金21NPO検討会の代表者で構成される「基金21協働会議」に、アリスセンターのスタッフが参加しました。

主な検討テーマは、基金21協働事業の今後のあり方、神奈川県におけるNPOとの協働推進策(松沢知事のもとでの新たな重点施策)などでした。

「基金21NPO検討会」「基金21協働会議」は、今後のNPOと県行政の協働のあり方についての重要な検討の場でもあり、アリスセンターとして参画したことは、協働の課題や今後の

方向性を考える上で貴重な機会となりましたが、その議論の内容を会員や一般市民に伝えるまでの余力がありませんでした。個別課題に取り組んでいるNPO関係者にとって、協働や支援そのものは関心事となっていますが、そのしくみのあり方などについての関心は高くとはいえず、伝え方を検討していくことが課題です。

【参考】基金 21 協働会議（かながわ県民活動サポートセンターweb サイト）

http://www.kvsc.pref.kanagawa.jp/kikin/kikin_kyoudou.html

2. まちづくりに関する相談・コンサルティング

（４）市民活動運営相談・実務相談・ヒアリング対応

専門家の協力を得て、アリスセンターと専門家の共同個別相談の体制づくりを行い、相談対応の条件を整理し、具体的なメニューとしました。市民ファンドづくり（子どもファンド事業）の技術支援という形で、アリスセンタースタッフと専門家が、団体訪問し相談に応じるという形態の実例もでてきています。

（５）川崎市地球環境保全行動計画推進会議の運営等に関する業務

※川崎市からの受託事業

年度前半は、行動計画の改定作業にあわせて、「川崎市地球環境保全行動計画推進会議」の評価作業の支援を重点的に行いました。特に、部会活動の活発な市民部会では、部会の取り組み内容や組織構成のあり方について、検討の場をもち、行動計画の市民への周知と実践の波及のための方策を検討しました。アリスセンターでは、こうした検討の場において出された意見をもとに課題や改善方策の提案などを行いました。

年度後半では、2003年2月に川崎駅地下街の広場「アゼリア」で開催した第6回地球環境フォーラム、広報や運営支援を行いました。

【参考】川崎市地球環境保全行動計画推進会議（川崎市 web サイト）

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30kantyo/home/ondanka/suisin/suisin.htm>

（６）港北ニュータウンまちづくりNPO設立検討業務

※(株)港北都市開発センターからの受託事業

財団法人港北ニュータウン生活対策協会が、港北ニュータウンのまちづくりを支援するNPO法人化するにあたり、組織、事業、法人化手続きなどについて、調査とコンサルティング実施しました。財団法人から(株)港北都市開発センターに委託された事業のうち、NPO法人化に関する部分をアリスセンターが受託したものです。

財団法人港北ニュータウン生活対策協会は、港北ニュータウン建設時に地元の地権者が中心となり設立した財団法人です。基本財産は事業の遅れによる補償金に相当する額を公団が横浜市に寄附し、その寄附金を横浜市が出捐しました。当初は地権者を中心とした地域住民の生活支援（土地活用の助言等）を行っていましたが、港北ニュータウンも建設が終了し、財団としては、定款に掲げた地域のまちづくりの第2ステップとして、生活対策から地域のまちづくり活動の支援などを重点的に行いたいと考え、また、横浜市の外郭団体的な位置づけの財団法人

から地域住民が自立的に運営する組織への転換を図りたいと考え、NPO法人化を検討することになりました。

アリスセンターでは、様々な団体のNPO法人化の支援(相談やコンサルティング、研修など)を行ってきましたが、財団からNPO法人への移行、地域住民(特に地権者)が中心となった組織の運営、財産の地域への活用などの要素をもった今回のようなケースはめずらしく、かつ、地域の自立的な運営をNPO法人として行うというモデルケースでもあり、現理事、元理事などとも連携して、組織面、法制度面、税制面などからの検討を行いました。

このケースは、アリスセンターとしてもNPO法人化支援のノウハウとしての蓄積ともなっています。また、今後このNPO法人が、具体的にどのような新規事業を展開するかについては、引き続き支援を行う予定であり、当該法人の自立性を尊重しつつ、地域に貢献できる事業展開を支援していきたいと考えます。

3. まちづくりに関する情報収集と提供

(7) NPO団体情報ポータルサイトの開設(「かなび」プロジェクト)

※地球環境基金・パナソニックマッチング基金からの助成事業

昨年度に続き地球環境基金と、新しくパナソニックマッチング基金の助成を受けて、環境関連団体を中心にかんびサイトを運営しました。また地域で行われている活動の情報を取材する市民レポーターの発掘につとめ、レポートをかんびサイトで紹介しました。

【参考】かなび web サイト <http://kannabi.jp>

なおパナソニックマッチング基金は2004年1月～12月までの助成で事業報告は次年度に含む。

(8) ホームページの運営

月2回発行のらびとにゆうずとイベント掲載申し込みにあわせて、ホームページの更新を行いました。また「かなびプロジェクト」で立ち上げる「かなびサイト」との連携を模索しました。

なお、アリス web サイトへのアクセス件数は昨年と同様の数字になり、増加傾向がとまりました。

*アリス web サイト (<http://www.jca.apc.org/alice/>) へのアクセス件数

	2000年度末 (2001年7月末)	2001年度末 (2002年7月末)	2002年度末 (2003年7月末)	2003年度末 (2004年7月末)
年度内	9,900	13,000	17,500	17,700
累計	9,900	22,000	39,500	57,200

(9) 「らびとにゆうず」の発行

毎月5日、20日に発行しました。(年間22回発行)

1) 県内の今の動きをつたえる「トピックス」の充実

イベント情報を依頼してきた団体にイベント開催後の報告をトピックスで紹介しました。また市民レポーター(かなびプロジェクト)が関心のある団体や活動取材して web サイト

に掲載しました。

2) 情報の積極収集・発信

サポートセンターやボランティアセンターの情報コーナーに設置してあるチラシやポスターの中で注目すべき情報を紹介しました。

3) 配信先の拡大

たあとる通信の申し込み者や会議などで出会った方にメールマガジンらびっとにゆうずの配信を進め、メルマガ登録者が 1,200 人から 1,500 人になりました。

*らびっとにゆうずの配信状況

2001 年度～ 2003 年度末 (7 月)	会員		情報交換		その他		合計	
	2002 年度末	2003 年度末	2002 年度末	2003 年度末	2002 年度末	2003 年度末	2002 年度末	2003 年度末
メールマガジン	232	247	12	12	1,084	1,229	1,328	1,502
FAX	53	38	7	7				
郵送	23	20	1	1				
不要		4						
							総数 1,568	

*らびっとにゆうずのトピックス

発行日	トピックス内容
2003.8.7	<ul style="list-style-type: none"> 7月23日(水)、川崎市にNPOが運営受託する公設フリースペース(こども夢パーク)がオープン すぺーすろっかく(六角橋商店街)を市民グループの活動で利用してみませんか? 「コデ80」が発足、「大人の社会見学」を開始しました。 市民活動情報WEBサイトの試用運転開始とメールマガジン創刊号発行のお知らせ
9.11	<ul style="list-style-type: none"> かなびオープン記念イベントのお知らせ、リユースパソコン寄贈について、そしてトークサロン バリアフリーフェア2003へのお誘い アリスセンター季刊誌「たあとる通信11号」発行! ならびに、たあとるセミナー「NPOと政治」開催のお知らせ アリスセンター総会のお知らせ
9.21	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動は形を変えながら継続していく、「月に祈るいのちのコンサートと自然観察会」
10.7	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市市民活動共同オフィス入居団体 再募集! たあとるセミナー「NPOと政治」 市民によるアニメ映画「ハードル」制作サポート活動が横浜市と宮城県古川市の市民の手で広がっています。
10.21	<ul style="list-style-type: none"> 10/20-11/3 第3回福祉のアート展…障がいのある人と商店街がいっしょにつくるまち…おでかけアート展覧会 11/1-12/13 ボランティアグループ マネジメント研修 11/3(月/祝)鉛土壌調査報告集会ごみ焼却場・処分場・それから…「例のない大規模な土壌調査を市民団体が実施」 11/22(土) 横浜に里山をつくらう…でもその前にごみ拾い 川井緑地(仮称)でクリーンアップ大作戦 9/30 アリスセンター総会の報告
11.5	<ul style="list-style-type: none"> 今回はアリスセンターに届いたWebサイトのご紹介 大学が市民向け講座や協働企画を行なっています。アリスセンターに入ってきた情報をお届けします。 鉛の濃度調査報告書完成のお知らせ 11/22(土) 横浜に里山をつくらう…でもその前にごみ拾い 川井緑地(仮称)でクリーンアップ大作戦 かながわ市民活動情報支援プロジェクト「かなび」の動き
11.21	<ul style="list-style-type: none"> NPOの過去・現在・未来 「コンピューターのリスクマネジメント」(かなびプロジェクト:市民活動のためのインターネット活用”体験”講座)
12.5	<ul style="list-style-type: none"> 2004/1/6-31 水俣・川崎展 近代とは何か、人間とは何か。えだきんパーク探検記 地域商店街活性化への試み(取材:石塚貢子) 12/7 どうか変! 横浜の二学期制移行
12.22	<ul style="list-style-type: none"> 12/7 どうか変! 横浜の二学期制移行 「もう決まったことだから…」を超える一歩へ 12/15 丹沢山麓の西山(厚木市)が砕石で削られる。地元住民が反対の声をあげるが届かず。 公開プレゼンテーション報告 かながわボランティア活動推進基金21
2004.1.20	<ul style="list-style-type: none"> 2/20-21 地球環境市民大学校 協働コーディネーター養成講座参加申し込み受付中! 「G30 勝手連」は「横浜G30プラン」を応援します(2004年1月5日正式にスタート) アリスセンター季刊誌「たあとる通信12号」発行! 特集「NPOと助成金」2/27 たあとるセミナー「NPOと助成金」を開催します。

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民や団体・企業から寄せられた Web サイトの更新情報
2. 5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 協働のための企業・自治体の視点からの NPO 評価調査報告書 ■ 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド 2004 年度助成金公募のお知らせ ■ 市民や団体・企業から寄せられた Web サイトの更新情報
2. 22	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2/24 横浜市教育委員会で、小・中学校の二期制移行について話し合いを行います。 ■ 2/28 イラク派兵に反対します。 ■ 3/13 勤労者がつくる市民社会（勤労者マルチライフ支援事業報告） ■ 会員募集 G30 勝ち連 ■ 2/21、2/22 「地球市民フォーラム 2004 持続可能なくらし」企画協力しました。
3. 10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3/20 平和のために声を上げるアクションの情報提供を、「神奈川平和工房」が呼びかけています。 ■ ユースボランティアミーティングⅢ in 神奈川 2004 実行委員募集！！ ■ 事務局スタッフ募集（特定非営利活動法人 市民セクターよこはま） ■ 年度末・年度始めの NPO 実務講座
4. 8	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4/25 横浜市民メディア連絡会第 2 回公開シンポジウムのお知らせ ■ どっか変！拙速な二期制移行！のその後（入江報告） ■ ～この夏、あなたの団体で、青年を受入れませんか？～「夏！市民活動体験塾 2004」参加団体説明会 ■ かながわ NPO ニュース」をお読みになりませんか？（かながわ NPO 法研究会からのお知らせ） ■ 公益法人改革その後の動き ■ 「かながわ NPO なび関心空間」に参加しませんか？（アリスセンターかなびプロジェクトからのお願い）
4. 20	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4/21 イラクの「自己責任」論について（アリスセンターでは以下の情報を受けましたので、お知らせします。） 5/5『第 1 回神奈川子ども未来ファンドハンズ TO ハンズ助成フォーラム』開催のお知らせ ■ 「都筑区市民活動支援検討調査報告書」ができました。 ■ 季刊誌「たあとる通信 1 3 号」特集サポートセンターを考える part2 ができました！ ■ 4/23、4/24 4/26 年度末・年度始めの NPO 実務講座参加申込 ■ 「何かをしたいと思っているあなたへ」イラクでの 3 人拘束関連 web サイト
5. 7	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5/28 第 6 回たあとるセミナー「サポートセンターを考える」参加者募集 ■ たあとる通信 1 3 号「サポートセンターを考える PART 2」販売中 ■ アリスセンターでは昨年 4 月より「かなびプロジェクト」を立ち上げ、県内に市民レポーターを増やそうと呼びかけています。 ■ 4/23 レポート（保坂義久）「松沢弘氏講演 マスメディアはなぜ戦争に反対できないのか」 ■ 4/23 レポート（comcom）：「イラク派兵を問う違憲訴訟、原告箕輪登元郵政相連続講演会」
5. 20	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「コリア子どもキャンペーン」にご協力下さい。 ■ 子ども・若者や子育てに関心をよせる約 100 名が参加
6. 8	<ul style="list-style-type: none"> ■ かなびプロジェクト市民リポーター養成講座 ～フォトテクニック編～ ■ 第 6 回 たあとるセミナー「サポートセンターを考える」報告
6. 23	<ul style="list-style-type: none"> ■ web サイト紹介：参議院選挙について ■ 辺野古命を守る会（沖縄の米軍基地移転問題）ボーリング調査阻止行動に全国からカンパを ■ 事務局スタッフ募集 NPO 法人日本ファイバリーサイクル連帯協議会（JFSA）
7. 5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参院選の選挙法が変わっているのをご存じですか。 ■ 特にこの時期に web サイトの紹介 ■ 市民と議員の条例づくり交流会議 2004
7. 20	<ul style="list-style-type: none"> ■ 8/26 アニメーション映画「ハードル」上映会のお誘い ■ 地域のたまり場「遊友ひろば」8 月オープン ■ 新潟県中越地方での集中豪雨について支援のお願い（7 月 14 日発信） ■ ごみ連講演会（川崎・ごみを考える市民連絡会）のまとめが届きました。

4. まちづくりに関する調査研究

(10) 勤労者マルチライフ支援事業

※(財)勤労者リフレッシュ事業振興財団からの受託事業

地域の市民活動情報を収集し、神奈川県経営者協会、神奈川県ボランティアセンターと協力して勤労者が関心のある社会活動に参加できるよう企業での出前講座を行いました。勤労者による実行委員会「ココデ 80」をたちあげ、川井緑地（旭区）の不法投棄対策について横浜市と協力してごみ撤去を行いました。

【参考】勤労者ぼらんていあ・ねっと web サイト <http://www.volunteer-net.jp/#>

(11) 都筑区市民活動支援検討調査

※横浜市都筑区からの受託事業

都筑区における市民活動支援施策のあり方や、都筑区版市民活動支援センター設立に向けたアンケート調査、ヒアリング調査など、基礎調査を実施いたしました。市民活動支援センターの設立においては、より市民の参加を高め、協働型で設立準備を行う必要性を提案し、市民・関連する複数部署が参加する開設準備会を実施いたしました。

【参考】都筑区市民活動支援検討調査（都筑区 web サイト）

http://www.city.yokohama.jp/me/tsuzuki/dn_siryo/simin/simin.html

(12) 川崎市コミュニティビジネス調査（受託事業）

川崎市内で行われているコミュニティビジネス調査の委託を受け、非営利（NPO）組織も対象団体とすることを提案し、調査をおこないました。この報告書をアリスセンター会員に提供し、同時にコミュニティビジネスに対してアリスセンターの考え方をテーマに、たあとる通信 15 号で特集を組みました。

【参考】たあとる通信 15 号「特集 社会的起業とコミュニティビジネス」

5. まちづくりに関する講座・研修等の企画・運営

(13) たあとるセミナーの開催

たあとる通信 12 号「NPO と助成金」、13 号「サポートセンターを考える」の特集を掘り下げて解説する「たあとるセミナー」を開催しました。今年度のセミナーは、一方的な講義ではなく、参加者も考える機会としてもらい、参加者間で意見交換をする時間を充分にとるよう配慮した構成としました。

- ◆ 2 月 27 日 たあとるセミナー NPO と助成金 参加者 20 名
- ◆ 5 月 28 日 たあとるセミナーサポートセンターを考える 参加者 22 名

(14) NPO 実務講座の開催

昨年度発行した「ウサギもカメもよくわかる NPO の実務テキストシリーズ」を活用し、NPO に関して見識の深い、税理士・社会保健労務士などの専門家の協力を得て、講座を実施しました。NPO が共通して、具体的な NPO 実務でサポートを必要とする時期に講座提供するために「年度末の NPO 実務」に絞り込んだ講座としました。会計・税務に比して労務講座の受講者は少なく、「スタッフ雇用しており法人格を持つ組織は労災加入が義務づけられる」等の制度認識が充分でない向きもあるため、今後は、講座の実施だけではなく、労災を含む労働保険の制度理解や必要性の広報も必要と思われます。

(15) 専門家向け NPO 基礎講座の開催

専門家が NPO に対して実務や経営ノウハウの支援を行うために NPO の実状を知る専門家が增える必要があります。今年度の基礎講座は、県内の他エリアでの開催をめざす予定でしたが、実施できませんでした。

(16) 協働コーディネーター養成講座の開催(地球環境市民大学校研修)

※地球環境基金からの受託事業

NPO、行政、企業、NPO間、各地で協働を試みる取り組みが行われるようになってい
ます。課題やニーズを具体的な解決に結びつけるために、各セクターの強みを活かしあえる協働
を効果的に進めるためには、どの時点で何を考え、どのようにして何を確認、合意すべきなの
か。協働を手探りするNGO、NPO関係者が、協働コーディネイトのあり方を探る講座とし
て開催しました。企画は、「かながわNPO研究会」の協力を得て行いました。

◆ 実施日：2月20日(金)～21日(土)

◆ 場所： ウィリング横浜研修室

◆ 参加者数：1日目49名、2日目29名

◆ プログラム：

1日目：講座1「協働の歴史と現状」講師：川崎あや

講座2「協働のしくみ」 ①契約と入札 ②指定管理者制度講師：菅原敏夫

2日目：協働コーディネイトのポイントを探る

事例報告

事例① 特非) 市民セクターよこはま吉原明香氏・泉一弘氏

事例② 特非) 茅ヶ崎市市民活動支援センター管理運営委員会益永律子氏

事例③ 特非) YMCA よこすかコミュニティサポート 高村文子氏

グループワーク 3事例と各参加者の事例検討

各グループの討議共有・全体討議

(17)「ボランティアグループマネジメント講座」の企画運営

※横浜市社会福祉協議会からの受託事業。

地域に密着して活動を行うボランティアグループが、高齢化や担い手不足で活動が続けられ
ないケースもでています。地域に必要な機能を継続させるために必要な担い手獲得(育成)、活
動資金調達、会計実務や他団体との連携などを学ぶ講座(全6回)を企画運営しました。

◆ 実施日：2月20日(金)～21日(土)

◆ 場所： ウィリング横浜研修室

◆ 参加者数：38名(27団体)

◆ プログラム：

①「いま改めて共感を力にするために…ボランティアグループ運営の基礎」

講師：川北秀人氏(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)

②「活動の課題と原因をさぐる」 講師：米田佐知子(アリスセンタースタッフ)

③「ボランティアの力を最大限に引き出すために…人材の活用・他団体との連携」

講師：大友久子氏(虹をかける会 スタッフ) 米田佐知子(アリスセンタースタッフ)

④「ボランティアグループの資金調達」

講師：後藤喜久子氏(配食グループ積み木代表) 山口郁子氏(中央労働金庫広報室社
会貢献担当)

⑤「ボランティアグループの会計処理」 講師：早坂毅氏(税理士)

⑥「これからの計画づくり」 講師：米田佐知子(アリスセンタースタッフ)

(18) 生活クラブ生協まちづくりアクション研修等

年度前半では、まちづくりアクションのコーディネーター対象のファシリテーター養成講座、まちづくりアクションに参加する一般組合員対象の講座を実施しました。さらに、年度後半では、各ブロックごとに実施されているまちづくりアクションの現場に出向いて、調査の分析方法やワークショップの企画、全体的なアクションの進め方などについて相談対応を行いました。

◆経過一覧

月	内 容
2003年	まちづくりアクション 2003 プレフォーラム参加
2月	まちづくりアクション 2003 ファシリテーター養成講座 (3日間)
3月	まちづくりアクション 2003 スタート講座 (2日間)
4月	まちづくりアクション連絡会
5月	まちづくりアクション連絡会
6月	まちづくりアクション連絡会 湘南ブロック (茅ヶ崎センター) 出前相談
7月	横浜北部ブロック (緑センター) 出前相談 まちづくりアクション連絡会
8月	横浜西部ブロック (旭センター) 出前相談
9月	南部ブロック (港南センター) 出前相談
10月	西湘ブロック (小田原センター) 出前相談
11月	まちづくりアクション 2003 フォーラムコメンテーター
12月	横浜東部ブロック (大倉山地区館) 出前相談

6. まちづくりに関する資料等の発行

(19) 「たあとる通信」の発行

12号「NPOと助成金」(テーマ:NPOの自律を損ねず、事業を展開させる助成支援とは? 事業管理費の助成も必要なのではないか?) 13号「サポートセンターを考える」(テーマ:神奈川県内にできた公設サポートセンターの功罪) 14号「政策提案とNPO」(テーマ:現場で活動するNPOからの政策提案を事例を通して考える) 15号「社会的起業とコミュニティビジネス」(テーマ:継続的な活動を推進するために活動の事業化を考える) を発行しました。

たあとる通信	発行日	企画内容	発行部数	販売冊数
12号	2003年12月15日	NPOと助成金	600冊	110冊
13号	2004年4月1日	サポートセンターを考える part 2	550冊	50冊
14号	2004年6月30日	政策提案とNPO	500冊	
15号	2004年7月31日	(仮) 社会的起業とコミュニティビジネス	500冊	

たあとる通信在庫数 (2004年7月31日現在)

1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	10号	11号	12号	13号	14号	15号
0	16	13	85	97	69	57	0	48	83	140	102	127	200	

(20)「ウサギもカメもよくわかるNPO実務テキスト」発行

NPOに関して見識の深い専門家の協力を得て、NPOの事業実施を応援するNPO実務テキストシリーズ(会計・税務・労務)の会計と税務の改訂版をそれぞれ200部、50部発行しました。

	在庫数
ウサギもカメもよくわかるNPOの会計	135
ウサギもカメもよくわかるNPOの税務	6
ウサギもカメもよくわかるNPOの労務	75

7. まちづくりに関する講師等の派遣

(21) 講師等の派遣

アリスセンターが取り組んでいることに関わる多様なテーマで、理事・スタッフ等を、市民団体、行政、企業等に、講師や委員として派遣しました。

*講師派遣

- ◆福祉クラブ生協共育実行委員会研修講師(米田・2003年9月)
- ◆NPO全国フォーラム北海道会議コーディネーター&パネリスト(川崎・2003年9月)
- ◆横浜コラボレーションフォーラム「コミュニティビジネス」分科会パネリスト(川崎・2003年10月)
- ◆横浜市大市民講座講師(川崎・2003年11月)
- ◆横浜市ボランティアセンター・ボランティアグループマネジメント研修(米田・2003年11月)
- ◆マルチライフ出前講座大和証券にて(川嶋・2003年11月)
- ◆親と子の広場 実践交流セミナー分科会講師(米田・2004年1月)
- ◆南足柄市社会福祉協議会ボランティア研修会講演(米田・2004年1月)
- ◆シンポジウム「みんなで育もう横浜の子どもたち」パネリスト(米田・2004年1月)
- ◆よこはまビジネスプラングランプリコミュニティビジネス部門二次審査参(川崎・2004年2月)
- ◆中央ろうきん助成選考委員会(川崎・2004年2月)
- ◆市民自治創造かわさきフォーラム「協働とまちづくり」分科会コーディネーター・パネリスト(小島・川崎・2004年2月)
- ◆日本青年会議所神奈川ブロック協議会まちづくり推進委員会講師(米田・2004年2月)
- ◆横浜市環境保全活動賞審査会(川崎・2004年3月)
- ◆滋賀県彦根市にてパートナーシップセミナー講演(川崎・2004年3月)
- ◆「NPOマネジメント」授業(川崎・2004年4月~7月)
- ◆中央大学講師(川崎・2004年6月)
- ◆生活クラブ生協アソシエーション講師(米田・2004年6月)
- ◆川崎市政策研究会(川崎・2004年6月)
- ◆日本女子大講義(石塚・2004年6月)

*委員会等

- ◆神奈川廃棄物減量化当推進協議会(川嶋)
- ◆神奈川県「多様な働き方」研究会(川崎)
- ◆横浜市市民活動推進委員会・協働についての専門部会(川崎)
- ◆藤沢市市民活動推進委員会(川崎)
- ◆(財)地球産業文化研究所「協働のための企業・自治体の視点からのNPO評価」研究会(川崎)
- ◆かながわボランティア活動推進基金21協働会議(川崎)
- ◆神奈川県地方税制等研究会税と暮らしを考える専門部会委員(米田)
- ◆横浜市男女共同参画審議会(米田)
- ◆横浜市地域福祉計画策定・推進委員会(米田)
- ◆横浜市泉区いきいき区民支援会議(米田)
- ◆神奈川県社会福祉協議会今後のともしび運動のあり方検討会(米田)
- ◆横浜市社会福祉協議会親と子のつどいの広場事業運営協議会(米田)
- ◆横浜市社会福祉協議会横浜市ボランティアセンター運営委員会(米田)

8. 市民団体等に対する支援・助成

(22) 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド事務局支援

NPOの財政基盤強化を目的に2001年に取り組み始めた「神奈川子ども未来ファンド」は、ファンドの法人格取得に伴い、アリスセンターが事務局受託するという形態をとりながらファンドを軌道にのせるための取り組みを行っています。

2003年度は、わかりやすく公正なしくみとするための組織見直しに基づいて、ファンド理事構成の多様化、助成プログラムの設計と実施、成果発信を行いました。

助成プログラムは、組織基盤強化のための運営促進助成（原則継続）と、新しい課題に取り組むための事業費助成（単年度）の二本立てとし、選考は第三者機関の選考委員会を設置し、運営促進助成については訪問審査も含む丁寧な選考を行いました。初助成では、運営促進助成5団体（総額150万円）、事業費助成1団体（総額15万円）が決まり、2004年5月に開催した「ハンズ to ハンズ助成フォーラム」には、約100名が集まりファンドの意義を確かめました。【参考】神奈川子ども未来ファンドwebサイト <http://www.kodomofund.com/>

(23) かながわNPO研究会事務局

課題やニーズを具体的な解決に結びつけるための職能養成が検討され、それに基づき協働コーディネーター養成講座（2/20～21実施）の企画参加をしました。また、公益法人改革などの動きを迅速に情報提供するためのメールマガジンを創刊しました。月1回発行を目安に、情報入手に応じて随時発行しています。

(24) 大岡川流域まちかわ衆

大岡川流域まちかわ衆が行う「大岡川ボランティアスクール」ならびに「大岡川リバースクール」の連絡窓口として事務局支援を行いました。

総会・理事会・開催記録

1. 総会 2003年9月30日（火）
2. 理事会

第1回	2003年 8月12日（火）	総会に向けて重要事業、受託事業の状況、決算予算 長期・中期目標に照らして、子どもファンドについて
第2回	9月9日（火）	総会に向けて
第3回	10月22日（水）	正会員との意見交換会、実務講座について
第4回	11月26日（水）	会員向けアンケート、たあとる通信12号について
第5回	2004年 1月14日（水）	アリスセンター就業規則、たあとる通信13号について アドボカシープロジェクト進捗状況
第6回	2月10日（火）	中長期目標について
第7回	3月12日（金）	次年度の理事候補者について
第8回	4月14日（水）	たあとる通信14号について
第9回	5月12日（火）	アリスセンターの今後について
第10回	6月16日（水）	介護休暇について
第11回	7月22日（木）	新理事を交えて